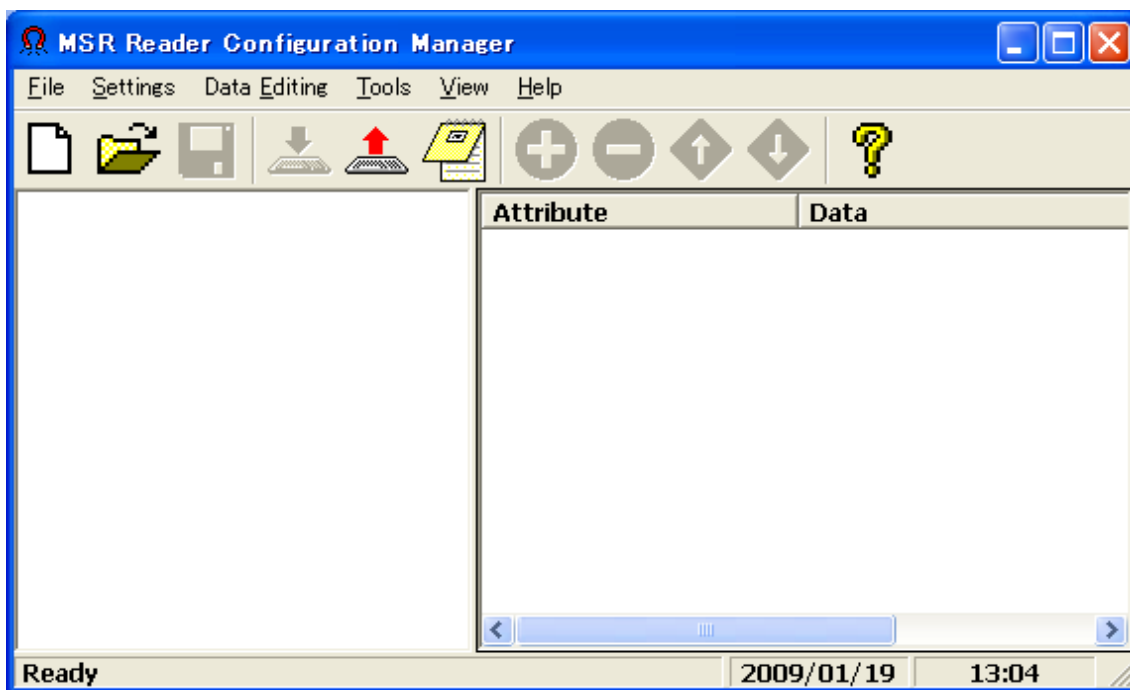


MSR Reader Configuration Manager 説明書



MSR Reader Configuration Manager は、ユニテック磁気カードリーダーの設定を行うためのソフトウェアです。設定は、キーボード、USB、または RS232 インターフェース等を通して磁気カードリーダーにダウンロードまたはアップロードすることができます。



リーダー設定

設定ファイルから設定を読み込む

File(ファイル)メニューから Open(オープン)を選択するか、ツールバーの



ボタン

ンをクリックし、読み込みたいファイルを選択します。設定ファイルは .cfg 拡張子がついています。

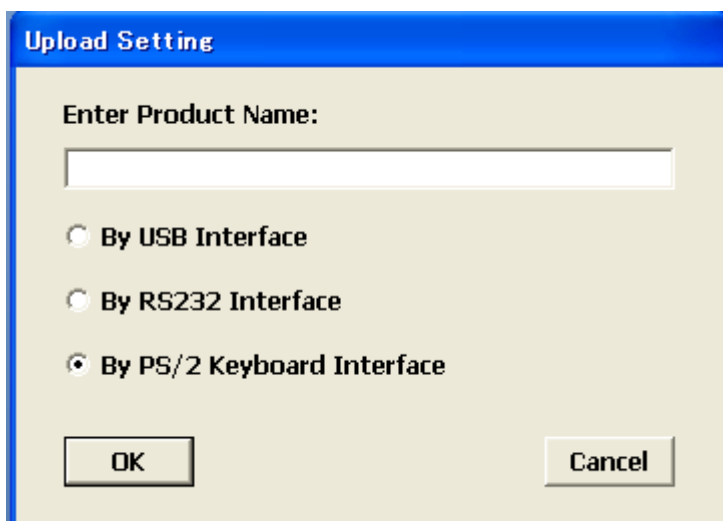
MSR から設定を読み込む

Setting(設定)メニューから Upload...(アップロード) を選択するか、ツールバーの



ボタンをクリックします。Upload Setting のタイトルがついたダイアログボックスがポップアップします。

テキストボックスに製品名 (例、MSR240) を入力します。接続されているインターフェースに従って、USB、RS232 または PS/2 キーボードのいずれかを選択します。そして OK をクリックします。



注: RS232 インターフェースを選択する場合、正しい COM ポートが選択されていることをチェックする必要があります。


設定ファイルに設定を書き込む

設定ファイル(.cfg ファイル)の変更を行った後、あるいは Unitech 製品から設定を読み込んだ後、PC にファイルを保存するために以下の二通りの方法をとることができます。

1. File メニューから Save または Save As... を選択します。

2. ツールバーから、 ボタンをクリックします。

MSR に設定を書き込む

Setting メニューから、Download... を選択するか、ツールバーの  ボタンをクリックします。Download Setting のタイトルがついたダイアログボックスがポップアップします。

デバイスの接続により、USB、RS232 または PS/2 Keyboard インターフェースのいずれかを選択し、OK をクリックします。



注: RS232 インターフェースを使用する場合、正しい COM ポートを選択していることをチェックする必要があります。

書き込み中を示すダイアログボックスが開きます。

MSR を工場出荷時の標準設定値に戻す

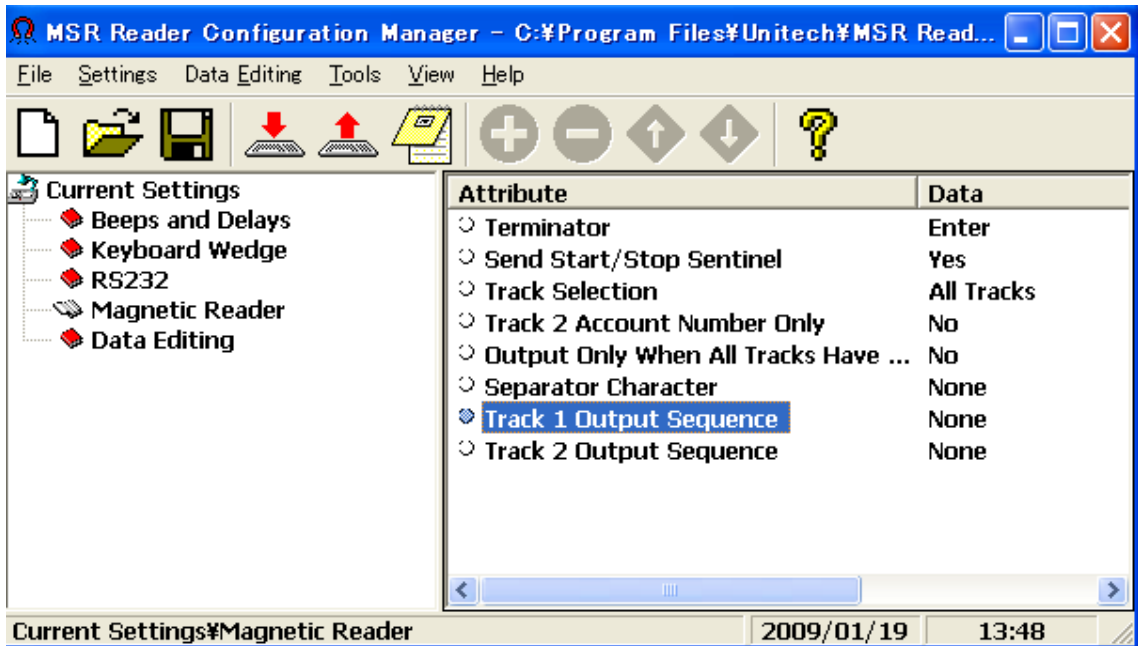
工場出荷時の設定に戻すには以下の二つの方法のいずれかを使用します。

1. File メニューから New を選択します。
2. ツールバーから  ボタンをクリックします。

そして、設定書き込みと同じように MSR に書き込みます。

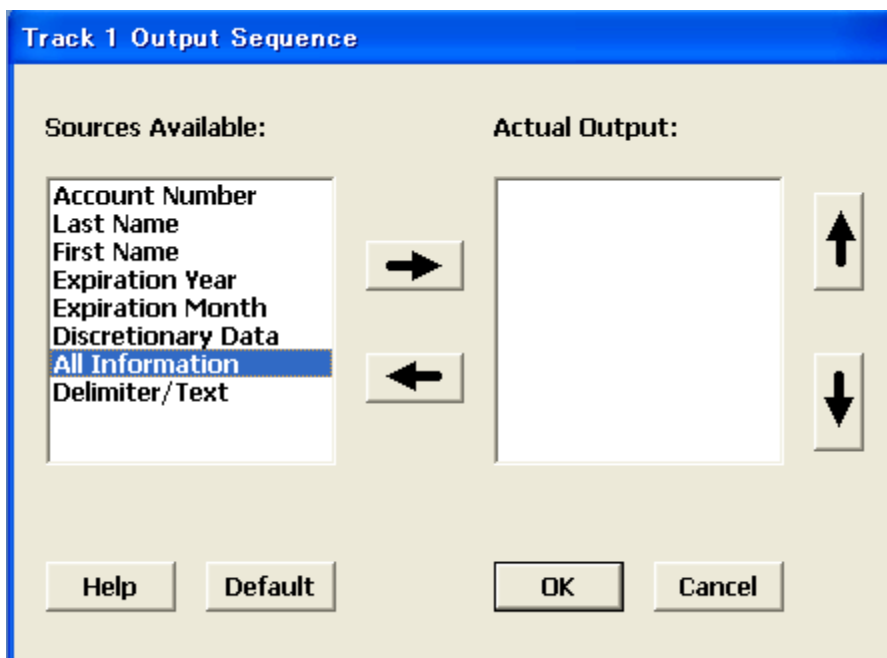
磁気カードリーダー設定の変更

Define Track 1 Sequence(トラック 1 出力シーケンスの定義)



Sources Available リストは、アカウント番号、名前、名字、有効期限、等などのトラック 1 で定義される実際の情報項目を含んでいます。これらの情報はユーザの好みによって Actual Output リストに追加することができます。

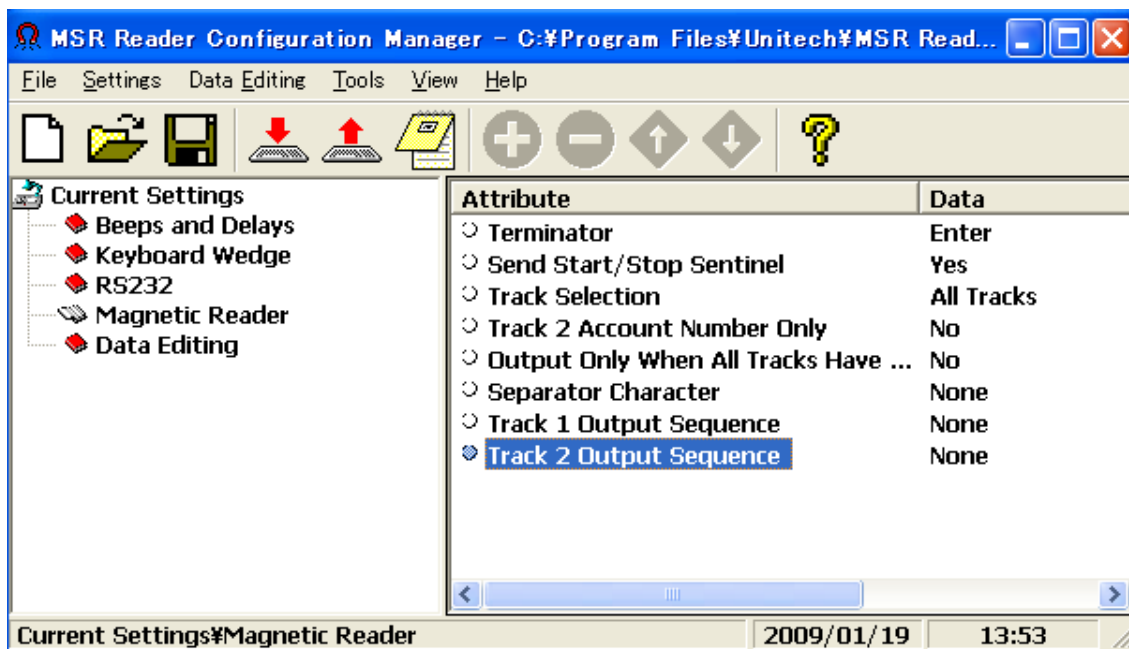
All Information の項目は、標準的な順序で上記のすべての項目を出力します。



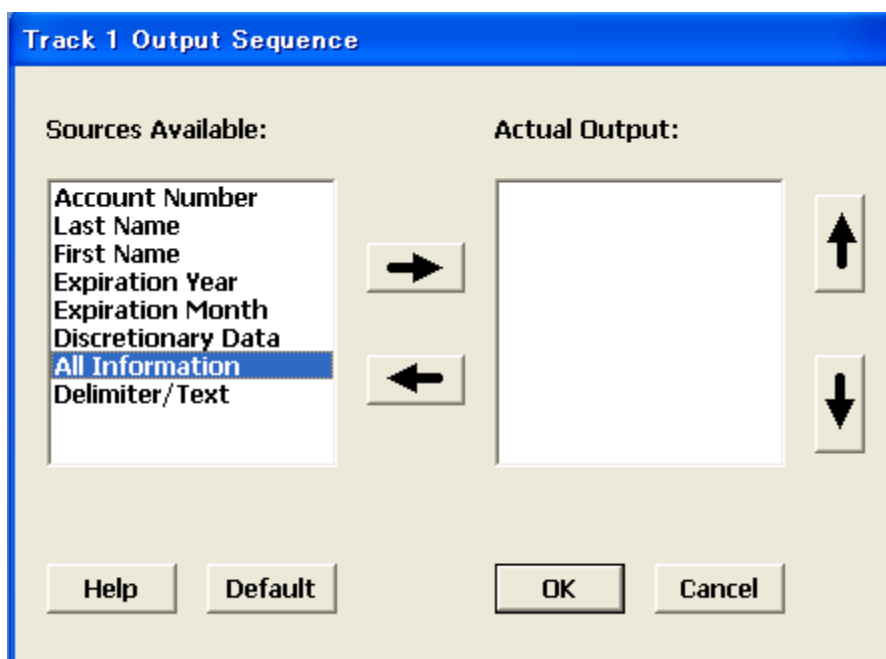
Delimiter/Text の項目は、Actual Output リストに追加されると、アカウント名と名前間にキャリッジリターン(CR)を、姓と名前間にスペース、あるいは有効期限の年と付きの間にスラッシュ(/)を入れたり、など、各項目の間に区切り文字や文字を挿入すること

ができます。この項目は、Actual Output リスト中で、各項目をダブルクリックすることによって後で変更することができます。

Define track 2 output sequence (トラック 2 出力シーケンスの定義)



Sources Available リストは、アカウント番号、名前、名字、有効期限、等などのトラック 2 で定義される実際の情報項目を含んでいます。これらの情報はユーザの好みによって Actual Output リストに追加することができます。

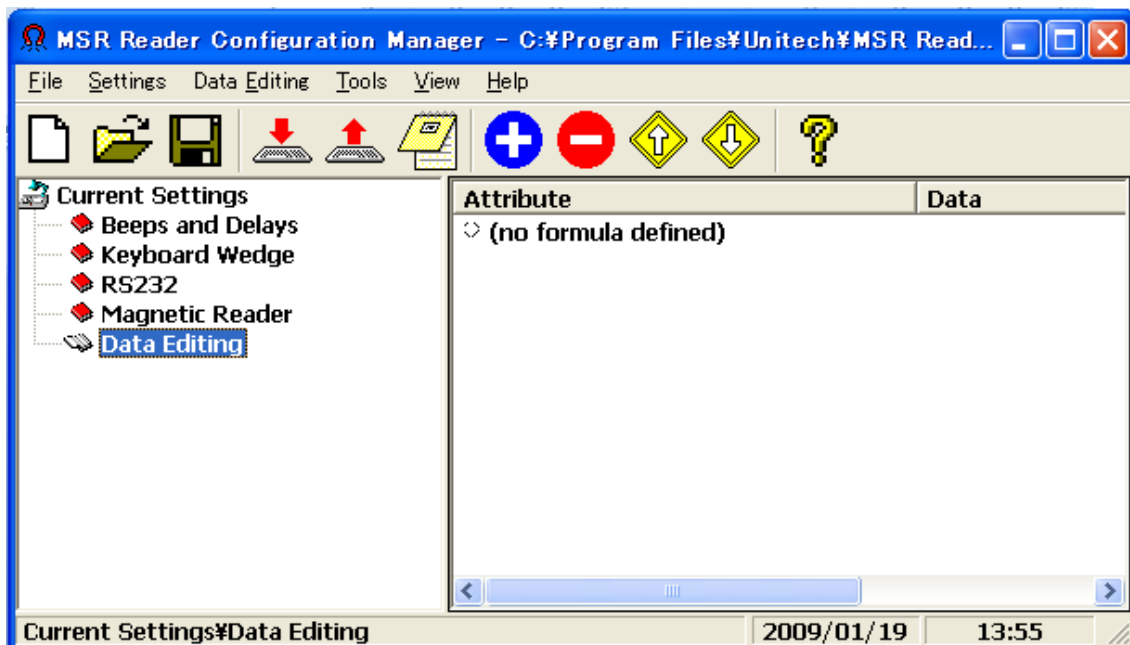


All Information の項目は、標準的な順序で上記のすべての項目を出力します。

Delimiter/Text の項目は、Actual Output リストに追加されると、アカウント名と名前
の間にキャリッジリターン(CR)を、姓と名前間にスペース、あるいは有効期限の年と付
きの間にスラッシュ(/)を入れたり、など、各項目の間に区切り文字や文字を挿入するこ
とができます。この項目は、Actual Output リスト中で、各項目をダブルクリックするこ
とによって後で変更することができます。

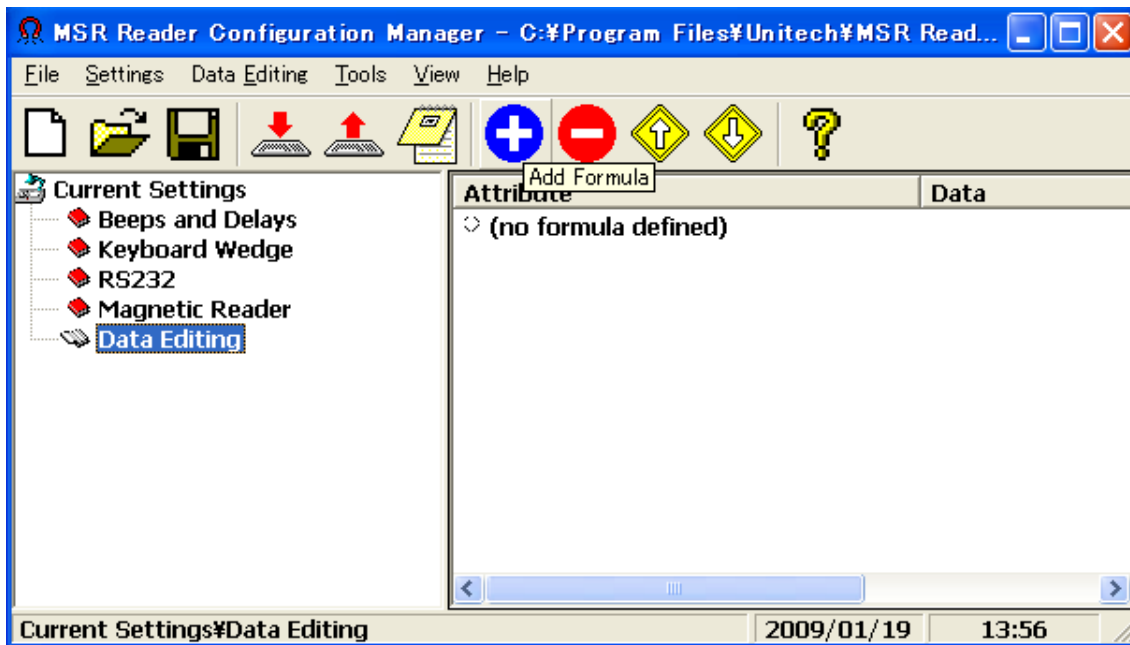
データ編集(Data editing)の考え方

データ編集(Data Editing) の目的は、磁気カードリーダーからの出力をユーザが定義して、
変更することができるということです。データ編集(Data editing)を使用して、磁気カー
ドから得られたデータについて以下の機能を実行することができます。



- A. 出力する順序を変更する
- B. レコードから文字を削除する
- C. ファンクションコードを含む文字をレコードに挿入する
- D. レコード中の文字をコピーする
- E. レコードに遅延時間を挿入する

データ編集(Data editing)を開始するには、左側の窓で、Current Setting の Data Editing
をクリックし、Data Editing メニューから適当な動作を選択、もしくはツールバーの対応
するアイコンをクリックします。使用可能なオプションは以下の通りです。



Add Formula --- Formula の追加



Delete Formula --- Formula の削除



Formula Up --- Formula を上に移動



Formula Down --- Formula を下に移動

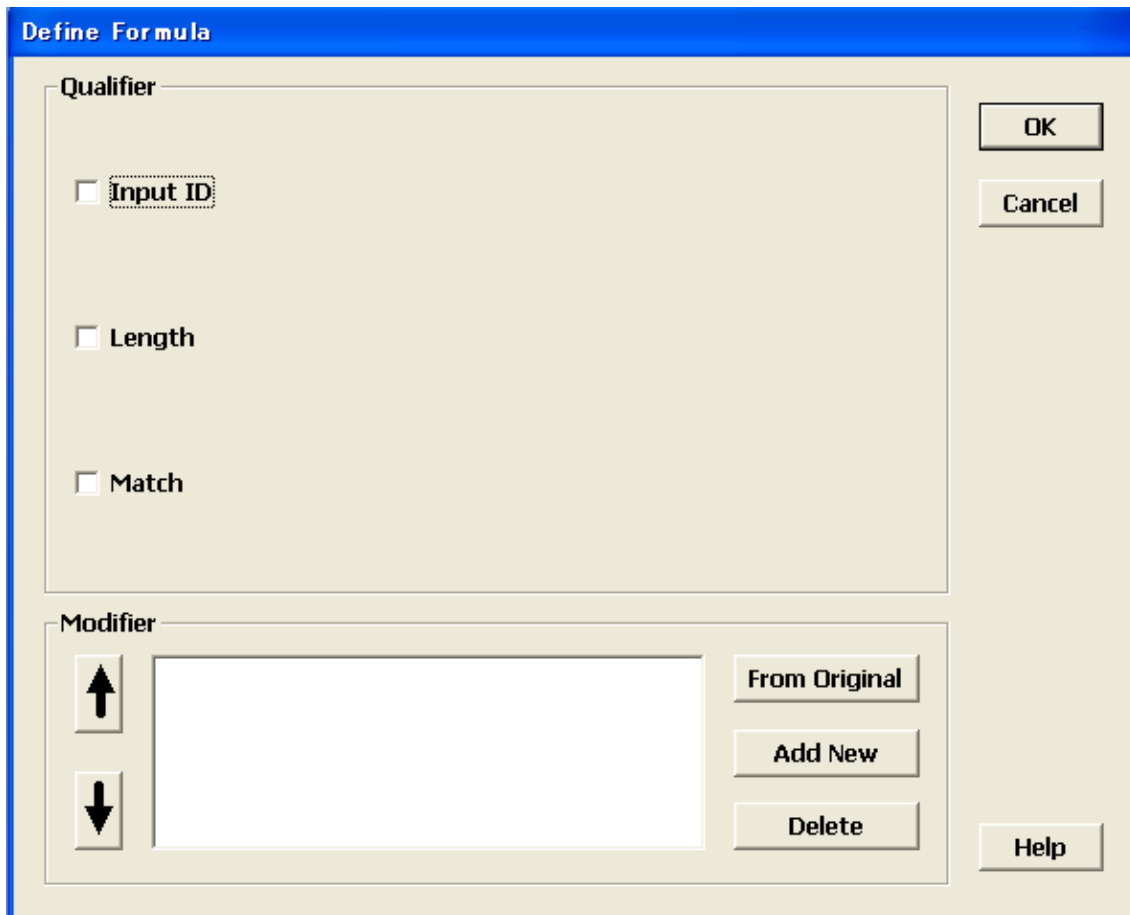


データ編集の基本単位は Formula を呼び出すことで、元のデータレコードを希望する出力に何を、どのように変更するかを磁気カードリーダーに知らせます。複数の Formulas を使用することができますが、Formula の数は、磁気カードリーダーのデータ編集に割り当てられたメモリ容量によって決まります。

元のデータレコードは、以下の図に示すようにデコードされたデータにプリアンブルとポストアンブルが加えられたものです。

プリアンブル	デコードされたデータ	ポストアンブル
--------	------------	---------

Formula は Qualifier と Modifier の二つのパートから成ります。Qualifier は、データレコードが指定した条件に合致したことを確認するために使用され、Modifier は Qualifier のすべての条件を満足した場合にのみ処理されます。



いくつかの Formula が定義された場合、データ編集は最初の Formula から最後の Formula を順に実行されます。Formula が適合され、実行された場合、以降の Formulas は無視されます。実行される Formulas がない場合、データレコードは、破棄され、出力はされません。

Qualifier には三つの条件フィールドがあります。

入力 ID(Input ID)

Input ID フィールドは、Formula に対して必要な入力タイプの構成です。

長さ(Length)

Length フィールドは、Minimal length (Min) と Maximum length (Max)の二つのパラメータで構成されます。定義された場合、Formula は、元のデータレコード長が Min と Max 間の文字数の間の場合にのみ実行されます。

注：元のデータレコードは、デコードされたデータにプリアンブルとポストアンブルを加えたものです。

一致(Match)

Formula に必要な一致パターンを定義します。各種の一致パターンを定義する方法については、一致条件の定義の項目をお読みください。Add または Del ボタンをクリックして一致条件を追加または削除するか、あるいは 変更するために特定の一致条件をダブルクリックすることができます。一致条件の順序を変更するには、上または下矢印をクリックします。

Modifier

二種類の Modifier があります。

From Original (元から)

この Modifier は、元のデータレコードの一部もしくは全部を出力します。この Modifier を変更するには、ユーザは元のデータレコードから出力される始まりと終わりの条件を示す Start parameter と End parameter を与える必要があります。

Output From Original Data

Start Parameter

From Position

From Last Position

After Matching

End Parameter

Number Of Characters To Output

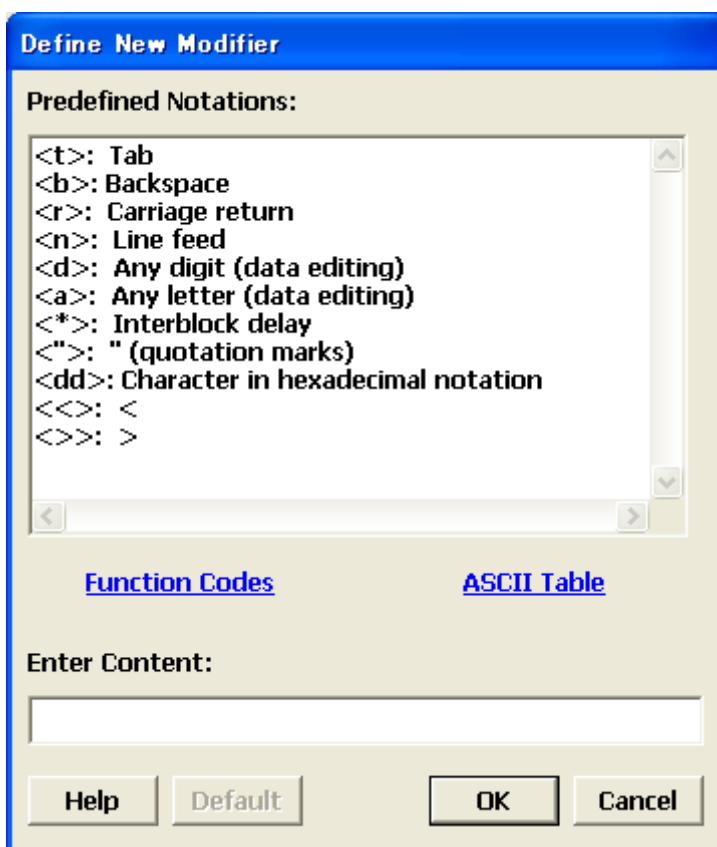
All Remaining

After Matching

Help OK Cancel

新しく追加(Add New)

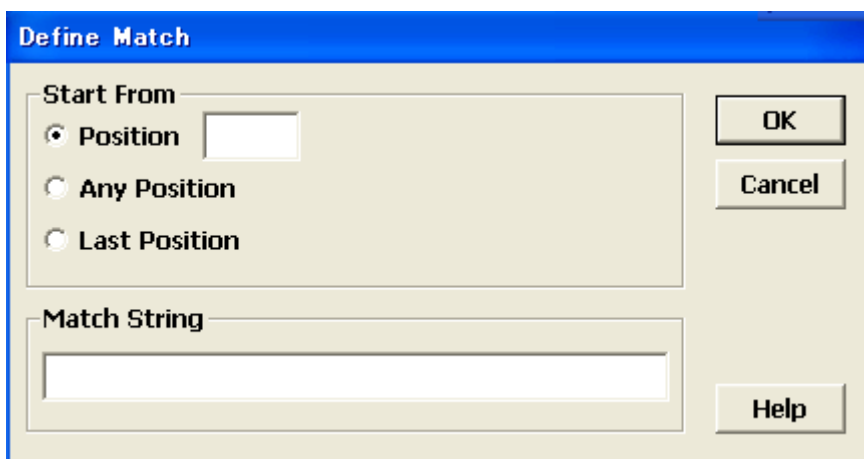
この Modifier では、ユーザは出力にファンクションコードを含む文字を挿入または追加することができます。これは出力にブロック間遅延(Interblock Delays)を挿入するためにも使用することができます。



一致条件の定義(Define a match)

一致条件を定義するために、二つのパラメータが必要です。最初は開始位置 (Start Position) で、これは Start From フレームで定義されます。二つ目は、文字列一致 (Match String) で、Match String フレームで定義されます。

Start Position は、以下の三つの方法の一つを使用して定義されます。



位置(Position)

一致を開始する場所を指定します。最初の文字は Position 1 で、二番目の文字は Position 2、等々です。

任意位置(Any Position)

Match String(文字列一致)は元のデータレコードのすべての位置に対して検証が行われることを意味します。

最後の位置(Last Position)

これは元のデータレコードの最後の文字位置を指定します。最後の文字に相対的に近い位置を定義するためにマイナスを使用することができます。これは最初の位置から数える代わりに、最初の文字からの文字数を数える代わりに、最後の文字からの文字数を数えるものです。

Match String フレームで、一致させる文字列パターンを入力します。任意の数字または文字を表すためにあらかじめ定義されたワイルド文字を使用することができます。詳細については、入力表記のセクションをお読みください。

元のデータレコードから出力(Output from original data record)

The screenshot shows a dialog box titled "Output From Original Data". It contains two sections: "Start Parameter" and "End Parameter". In the "Start Parameter" section, the "From Position" radio button is selected, and there is an empty text input field next to it. The "From Last Position" and "After Matching" radio buttons are unselected. In the "End Parameter" section, the "Number Of Characters To Output" radio button is selected, and there is an empty text input field next to it. The "All Remaining" and "After Matching" radio buttons are unselected. At the bottom of the dialog, there are three buttons: "Help", "OK", and "Cancel".

元のデータレコードから出力される始まりと終わりの条件を示す Start parameter と End

parameter を与える必要があります。

注：元のデータはデコードされたデータにプリアンブルとポストアンブルを加えたものです。

開始パラメータ(Start Parameter)

Start parameter は、以下の三つのフォーマットで定義することができます。

From Position

位置を直接指定します。最初の文字は Position 1、二番目の文字は Position 2、等々です。

最後の位置から(From Last Position)

最後の位置からカウントを始めます。マイナス n を付けた場合、最後の文字の前の n 番目の文字から開始する出力を定義する簡単な方法を提供します。

一致の後(After Matching)

最初の文字から開始し、位置を探すために文字パターンを使用します。たとえば、サーチパターン P が "ABXY" として定義されると、以下の様に評価が行われます。

- 1.元のデータレコードの最初の文字から開始し、 'A'を探します。
- 2.'A'の次の文字から 'B'を探します。
- 3.'B'の次の文字から 'X'を探します。
- 4.'X'の次の文字から 'Y'を探します。
- 5.上記のすべての文字が見つかったら、結果は 'Y'の位置です。

必要であれば、オプションの整数値をその位置に加えたり、引いたりすることができます。たとえば、"ABXY + 2" または "ABXY - 1"です。値を定義するには、Use Offset チェックボックスをチェックし、"+" または "-" を選択し、そしてテキストボックスに値を入力します。

ワイルド文字は任意の数字または文字を表すサーチパターンに使用可能です。詳細については入力の注記のセクションをお読みください。

終了パラメータ(End Parameter)

End parameter も三つの方法で定義することができます。

文字数(Number Of CharactersTo Output)

Start parameter によって定義される位置から出力する文字列の合計文字数

残りすべて(All Remaining)

Start parameter によって定義された位置から残りすべての文字を出力。 必要なら、正の整数 n を All Remaining から引くことができ、これは最後の前の n 文字が実際の最後であることを意味しています。 n を定義するには、Minus チェックボックスをチェックし、テキストボックスに値を入力します。

一致の後(After Matching)

Startparameter により定義された次の位置から開始し、最後の位置を見つけるためのデータに検索パターンを適用します。これは Start parameter に対する After Matching の定義と同じです。

出力を定義については、最も簡単もしくは最も直接的な方法を選択することができます。

入力の注記

一般に、入力しようとしている文字または文字列が、文字、数字等の印刷可能なものである場合、"Enter Content" テキスト文字ボックスにそのままタイプします。これは以下の 3 文字を除きます。

"

Input as "<"> として入力

<

Input as "<<"> として入力

>

Input as "<>"> として入力

タブ、キャリッジリターン (CR) とラインフィード (LF) 文字は、以下のあらかじめ定義された注記を使用して入力します。

<t>

Tab を表します。

<r>

キャリッジリターン (CR) を表します。

<n>

ラインフィード (LF) を表します。

データ編集のために Match String を定義する場合、以下の 二つのあらかじめ定義された注記はワイルド文字として使用可能です。

<d>

任意の数字 ('0' - '9') を表します。

<a>

任意の文字 ('a' - 'z', 'A' - 'Z') を表します。

データの編集のために新しい Modifier を追加(Adding New modifier)をする場合、出力にブロック間遅延(Interblock Delay)を挿入するために以下の注記を使用することもできます。

<*>

ブロック間遅延(Interblock Delay)を表します。

特別な ASCII 文字、PC、Macintosh または IBM ターミナルのファンクションコードを入力したい場合、<dd>の様に 16 進数フォーマットで入力する必要があります。たとえば、PC の F1 ファンクションコードは <80>として入力することができます。ASCII コードとファンクションコードの 16 進数値は、MSR Reader Configuration Manager のヘルプで見つけることができます。